

下水道 BCP に基づく訓練実施に関する共同研究

調査研究年度：2017年度

地震・津波対策

地方公共団体との共同研究

【研究の目的及び成果】

地震等の大規模災害時において、下水道機能の継続・早期回復を図るため、現在、国内全ての自治体にて下水道 BCP が策定されている。下水道 BCP は策定して終わりではなく、策定した内容に基づいた訓練等を実施し、より実効性の高い計画にブラッシュアップすることが重要である。そこで、本機構では、一宮市と共同で下水道 BCP に基づく図上訓練を実施した。本研究で以下の成果が得られた。

- 非常時における一宮市の課題が明確となった。
- 一宮市職員の災害意識向上等を含めた下水道 BCP のブラッシュアップに寄与することができた。

【共同研究の概要】

(1) 訓練の実施

策定した下水道 BCP をより実効性の高い計画とするため、ロールプレイング方式による図上訓練を実施した。訓練終了後、訓練参加者による振り返り会を実施し、下水道 BCP や非常時対応に関する課題を抽出した (図-1)。



図-1 訓練の状況と得られた課題

(2) 訓練で得られた課題と下水道機構が提案する改善策

下水道 BCP 図上訓練で得られた課題と下水道機構が提案する改善策を表-1 にまとめる。

表-1 下水道 BCP 図上訓練で得られた課題と下水道機構が提案する改善策

| 訓練により得られた主な課題 | 下水道機構が提案する改善策 | 期待される効果 |
|-------------------|---|------------------------------|
| 職員の非常時対応に関する理解度向上 | ・ 下水道BCPに関するペーパーテストの実施 → | ・ 災害意識向上 ・ 弱点の把握 |
| 他班との連携不足 | ・ 訓練の繰り返し → | ・ 非常時対応への慣れ ・ 職員個々のスキルアップ |
| 情報の整理方法 | ・ 掲示板等への記入の工夫 (マーカー色の変更、重要情報は文字を大きく) (受信、発信時刻は必ず記入する) → | ・ 効果的な情報の周知 |
| | ・ 紙面情報の管理の工夫 (対応/未対応の情報をBOXにて振り分ける) → | ・ 対応漏れの防止 |

【特徴等】

本研究では、本機構のノウハウを生かした下水道 BCP 図上訓練を通じ、一宮市職員の災害意識向上等を含めた下水道 BCP のブラッシュアップに寄与することができた。

※ 一宮市、(公財)日本下水道新技術機構

問い合わせ先：研究第一部 内田勉、内田聡、齋藤篤【03-5228-6597】

キーワード

下水道 BCP, BCP 訓練, 地震・津波対策